

二河水源地取入口



日本遺産 物語の舞台をたずねて 12

呉鎮守府開庁の翌明治23（一八九〇）年、旧海軍は専用水道の給水を開始しました。二河川から取り入れた水を約4km離れた宮原浄水場に送り、浄化した水を海軍構内の各施設に配水する「近代水道」は、横浜、函館に次いで国内で3番目の歴史を誇ります。

市街地近くにある、市の名勝二河峡。その上流にある自然石をくりぬいた取水隧道（トンネル）は、明治21（一八八八）年12月に着工し、明治22（一八八九）年9月に竣工しました。

取入口は御影石造で、上部に「呉鎮守府水道」と刻まれた標石が埋め込まれています。丁寧な造りで、127年経った現在も工業用水道の水源地として活躍しており、当時の石工の高い技術力をうかがうことができます。

宮原浄水場低区配水池は、明治23（一八九〇）年に築造されました。

この配水池は、地下約6mまで掘り下げた上に石を

積んで造られており、幅37m、長さ44・4m、容量は8000m³。上屋は全て赤レンガ造です。平成25（二〇一三）年3月に新しい配水池が完成するまで123年間使用されました。

どちらも、日本近代水道の初期の様子を知る上で貴重な施設として、国登録有形文化財に登録されており、近代水道百選にも選ばれています。

※昭和60（一九八五）年に厚生省（現・厚生労働省）が企画し、日本水道新聞社が主催・選定したものです。



二河水源地取入口がある二河峡公園一帯は、ハイキングにぴったり。行ってみてクレ！



問 経営企画課 ☎026-1604

●二河水源地取入口
[所在地] 荘山田村(二河峡隧道付近)
[アクセス] バス…「上二河町」バス停 下車徒歩25分
車…二河峡公園駐車場 (無料)

●宮原浄水場低区配水池 (上屋の一部の展望のみ)
[所在地] 青山町5-2
[アクセス] バス…「宮原1丁目」バス停 下車徒歩1分
車…駐車場なし

▶浄水場内にあるため一般開放はしていません。浄水場外(丸子谷公園(青山町))から赤レンガの上屋の一部を展望できます。

